

WG活動計画概要：地域経済活性化WG

一名護市の地域経済活性化における課題とToBe像

As-Is

内部環境	Strengths (強み)	<ul style="list-style-type: none">● 経済金融活性化特別地区に指定されており、税制特例や企業集積施設の整備等が行われている● 人口が微増傾向である● 北部テーマパークが開業予定であり、経済効果や雇用創出効果を期待できる
	Weaknesses (弱み)	<ul style="list-style-type: none">● 名護市の地域経済循環率は78.7%（平成30年）となっており、市内で生み出された付加価値の21.3%が市外に流出している状況である● 若者は転出超過傾向にある● 事業承継が進んでいない
外部環境	Opportunities (機会)	<ul style="list-style-type: none">● 生産性向上・業務効率化につながる先端技術が日々発達・普及している● リモートワークや副業など多様な働き方が広がり、UターンやIターンによる地域人材の確保が可能となっている
	Threats (脅威)	<ul style="list-style-type: none">● 経済のグローバル化により、海外企業との競争が激化している● アフターコロナ時代の経済社会への対応が求められる● 全国的に少子高齢化社会が進んでおり、担い手不足や経済規模の縮小が課題となっている

To-Be

コンセプト

様々な好機、多様な人材、地域資源を最大限活用した、豊かで活力のあるまちづくり（仮）

名護市の
関連計画で
整理された内容

豊かな自然環境のもと、人と地域資源を生かしたものづくり・ひとづくり・まちづくり
～住んでよし、営んでよし、訪れてよし～

※第2次名護市中小企業・小規模企業振興ビジョン

目指す状態

事業者



- ✓ 適切なターゲットに対して、効果的な販促活動を行い、十分な収益を確保できている状態
- ✓ 名護産品が十分に認知され、市内外で消費されている状態
- ✓ 限られた人材・アセットを最大限活用して、高い生産性で製品を生み出している状態
- ✓ 災害等の対策が十分にされ、緊急時にも事業を継続することができる状態

労働者



- ✓ 地域人材が、十分なスキルや知識を習得し、名護で活躍する状態
- ✓ 個々のライフスタイルに合わせた働き方を実現できる状態
- ✓ 性別や障がいの有無等に関わらず、個々の能力を最大限発揮できる状態
- ✓ 名護市内で就職を考える際に、業種等に幅広い選択肢がある状態